

文化福津



福津市文化協会会誌

第20号 2025 (通算36号)

こどもギャラリー



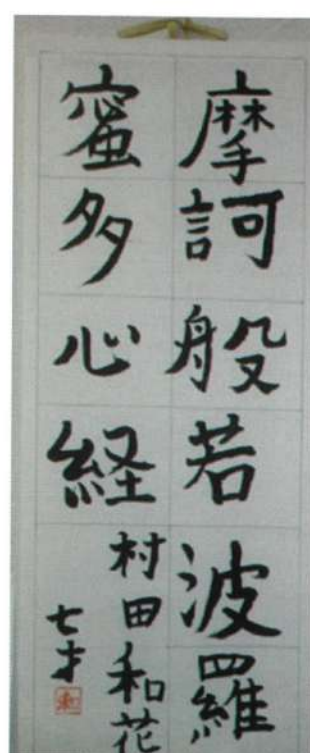
津屋崎小2 村田和花



白菊幼稚園 涌野航輔



福間小3 柳田光貴



津屋崎小2 村田和花



福間小3 涌野由菜



白菊幼稚園 涌野航輔

目次

表紙絵 豊村酒造	平木靖雄
表紙裏 こどもギャラリー	あおぞら習字教室
市民美術館 南北墨画会	1
会長を引き受けて	平木俊敬
福津の歴史 福津市の横穴墓	2
江戸後期 福間で纂された俳諧集(上)	春口将輝
軒先拝見 特別編 豊村酒造	的場文彦
河津隆家滅亡後の宗像市と鞍手郡	5
福津の自然 福津の自然を守るためには	桑田和明
ふるさとのまつり 上西郷 大森神社	森 優斗
藤かずら筆	永尾藤江
会員さん訪問 和洋クラブ 福津三線島唄会	柳田和也
城野歌謡教室 正義流福間教室	18
文化短信	19
畦町宿つれづれ(七)最後の定礼医高村直嗣その三	岩熊 寛
白砂青松の福津松原	広渡策生
カント著「啓蒙」とは何かを	方木修一
代表はつらいよ	上坂仁志
「甲子園球場100年」に思う	平木俊敬
さいわい丸の災難	三際りん
藍の家の歩み	古閑由美
書籍紹介 「宗像・沖ノ島」「カランコエが咲く場所で」	40
文化祭を終えて	42
令和6年度事業実績・役員代議員名簿	43
福津市文化協会代議員名簿	44
編集後記	44
裏表紙 原田彪氏作品	

たけし 原田 彪さんの彫刻



「陽光」第30回日展
中央公民館

原田彪さんは、津屋崎で18世紀半ばから素朴な土人形を製作・販売している原田半蔵人形店の六代目、原田半宗でもあります。小学校教師として後には校長を務めながら子供たちを導く一方、人形師としてまた彫刻家として三足の草鞋を穿き続けました。

粘土で原型を作って型を取り、そこへグラスファイバーを入れて制作された作品は、型の中に粘土を押し込み、焼いて作る津屋崎人形の作り方と似ている点があります。そこに彪さんの着目点を見ることができるようにも思われます。

現在、市内の学校や公共施設には、日展入選作をはじめいくつもの原田彪作品が展示されています。若者や母子に温かい眼差しを注いだ作品が多いのは、作者の教師としての一面の反映でしょうか。

(参考 「津屋崎人形写真集」 福津市観光資源開発実行委員会)



「浜風」第20回日展入選
中央公民館



「やまびこ」
津屋崎小学校



「あかとんぼ」
カメラア



「大地」 光陵高校



「明日へ」 津屋崎中学校

文化福津 第20号 (文化協会会誌 通算36号)

発行日 令和7年3月
 発行者 福津市文化協会
 (文化会館カメラア内)
 編集者 柴田 碧
 印刷所 有限会社 日高印刷所
 TEL 093-245-0214

編集委員

上坂 洋子 平木 郁子 永尾 藤江
 的場 文彦 柳田 和也 柴田 碧